

第88回（平成29年度第5回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成30年1月22日（月）午前10時00分～11時30分

2. 会 場：西宮市役所東館8階 803会議室

3. 委員の出席

委員総数	：	7名	
出席委員数	：	7名	
放送事業者側出席者	代表取締役社長	：	1名
	統括部長	：	1名

4. 議題

今期審議番組の経過報告、委員からの質問事項

今期（平成28年5月～）に審議した番組に関して委員会での指摘事項等の経過報告、その他事前に委員からいただいた質問への回答、意見交換など。

5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中7名の出席で、過半数出席、会は有効に成立している旨の報告。その後、議題に沿って資料を基に報告の後、各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

6. 審議内容

番組の審議（発言要旨）

委員長：事務局よりの報告、回答について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：日曜日に「DJ Nobby'sTokyoLive」を聞いた。ゲストとのやりとりなど楽しく良い番組だと思う。この番組は全国のコミュニティFMに配信されているようだ。さくらFMがキーステーションになっているのか。合わせて営業的な実績はあるのか、教えて欲しい。

事務局：番組の直接的な営業成果はないですが、ビルボード大阪等でのライブイベントでは成果があります。開局直後に彼を含む高校生のグループが来局し、当初は高校生の番組を制作していた。卒業後は単独で番組を担当するようになり現在に至っています。

- 委員：大変ステキな番組なのでなんとか商業ベースで成功すればいいのですが。番組編成は営業であり、放送局の一番の要です。「DJ Nobby's TokyoLive」など、さくらで育った番組をどう活かしていくか、まだまだ工夫の余地はあると思います。全国区へ出ていく人材を育ててきたわけなので、自信を持ってやっていただきたい。
- 委員：北部地域が聴こえにくい。
- 社長：北部に関しては生瀬中継局を現在準備中で、年度末に供用予定です。
- 委員：武庫川団地もアンテナをたてないと聴こえない。改善策はないのか。
- 社長：武庫川団地に関しては市南部では一番の難聴区域であるという認識です。
- 委員：審議会で出された意見等はどのように反映されているのか
- 事務局：いただいたご意見等は適宜各番組の担当者に伝えたり、社内で協議したりしています。審議対象番組に関しては社内では共有しているが、出演者には事前に伝えていません。
- 委員：委員に聞きますが、出演している学生は楽しそうですか。
- 委員：楽しいとは思いますが。放送部とは別に学内でラジオの活動をしている学科もあります。
- 委員：たまに番組を聴くと楽しい。もっと枠が広がればいいなと思う時もある。学生が話すキャンパスの中身、学生達の関心や流行など話題は尽きないと思う。京阪神の大学で連携するなどいろいろ考えられるのでは。今回の回答を見て少し残念だと思った。
- 社長：武庫川女子大とは現在鳴尾駅の高架下利用の件で協議しているが、放送部は現在部員が15名と聞き、学校の規模の割には少ないと思った。
- 委員：部員が15人というのは少ないのではなく、いまほどの部活、サークルにも人が集まらない。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。次回の審議会は平成30年3月20日午後4時00分と決定した。

議長は午前11時30分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ（URL <http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成30年1月22日
さくらFM株式会社